

# 町田通勤寮だより

NO 47 2014年9月

## 東京都町田通勤寮

〒194-0045 東京都町田市南成瀬1-5-3

電話 042(739)0491

### 巻頭言

9月は「防災月間」です。これはご存じのとおり「関東大震災」に由来があり、各地で様々な取り組みがなされます。通勤寮でもこの時期を中心に行われる、町内会の防災訓練（講習）に毎年参加しています。

「東日本大震災」から3年半。日常生活に追われ、自分の中の「記憶」が薄れていくことへの危惧があります。

以前にお話したことがあります、私の故郷は福島県相馬市です。（通称「浜通り」と言い太平洋に面した町で、宮城県との境に近い町です。）家族旅行を兼ねて帰省し海水浴を楽しむのが、毎年夏の恒例行事でした。3年前の夏、それまではテレビ映像でしか見ていなかったものを、実際のあたりにした時の衝撃は大きなもので、毎年当たり前のように見ていた風景が一変しており、私にとっては50年以上当たり前だった「原風景」の喪失でした。

その後も毎年夏には帰省していますので、年々整理されている部分は見

られますが、「復興」には程遠いものを感じています。日々暮らしている人々にとつての「復興」とは、自分には何ができるのか。思い出せば悶々としている自分があります。

東日本大震災後、「絆」という言葉が周りに溢れていたような気がしますが、では、「絆」とは何なのでしょう。

私は「お互い様」と言う言葉に表されている「互いを思いやる心」ではないかと思っています。私の年代からすると当たり前と考えている事が、そうではない事に度々遭遇します。「時代が違うから」と言われても納得できない事もあります。

通勤寮における「支援」を考えた時、まず「信頼関係」という事が言われます。これも「互いを思いやる心」の一つの形ではないかと思えます。お互いの気持ちが一方向行になっていては、「良い関係」はできません。「相手の気持ちを考えながら、自分の気持ちを伝えていく。」ことは簡単ではありませんが、今こそ求められていると思っています。

(三階)

### 納涼会(ボウリング大会)

7月12日、毎年恒例の納涼会が行われました。

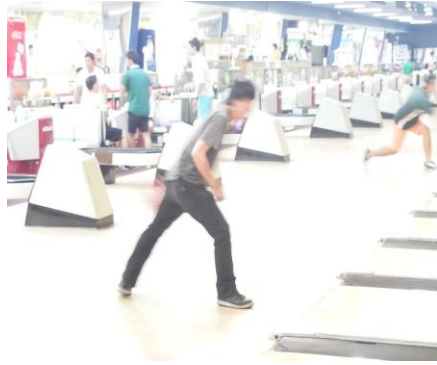
ボウリング大会は町田駅にある千寿閣(町田ボウリングセンター)で利用者職員が一緒にチームを作り、7レーンに分れてボウリングを楽しみました。

ボウリングを投げた事がない、やり方が分からないという利用者もいて三階寮長より投げ方を教わり挑戦する人、優勝を目指して力投する人、ガ

「ターばかり出す人、他の人のスコアが気になりゲームの合間になると確認に走る人：それぞれがボウリングを通して交流を深め、楽しめたのではないかと思います。」

結果発表は場所を移して納涼会の合間に行いましたが、上位3名は今まで上位に入る事なかった方が2名ランクインし、当の本人も「まさか上位に入るとは思わなかった…！」と喜びの声が出ていました。

番外編ということで後日、職員別の順位を貼ってみると「見たよ」「こういうのも面白いね」など好評だったので、次回も職員別順位を発表してみようかと思えます。



各々のスタイルで楽しんでいました



上位者には豪華景品が！

(浅田)

### 納涼会(東林バーベキュー)

ボウリング大会の後は、東林バーベキューです。昨年も利用しましたが、ボウリング後に現地に送迎バスが来てくれるという有り難いサービスがあり、職員や利用者からも好評を博しています。現地は古風な雰囲気漂う

お店で、勿論お肉、飲物、デザートが食べ放題！利用者さんも職員も喜々としながら食事を摂っていました。1年目の利用者の中では、「バーベキューをした事がない」と話している人もいましたので、楽しめたのではないのでしょうか。食べ過ぎや飲み過ぎで体調崩す人もおらずバーベキューを満喫する事が出来ました。



三階寮長による挨拶



おいしそうなお肉がズラリ！

(青木)

### 調理実習

8月7日(日)の調理実習には男性3名・女性3名の利用者が参加しました。メニューは冷やし中華、ご飯、餃子、フルーチェです。去年は冷凍餃子を使って焼きましたので今年は手作り餃子に挑戦しました。キャベツ・ニラを細かく切って調味料を合わせて具が出来ました。ここから先がとても大変で、中身が多過ぎて具が飛び出していました…。うまく握るのはとても難しかったです。その後、一人一人焼いて出来上がり！手作り

餃子は格別な味だったのではないでしょうか？次回は利用者さんのリクエストを聞きながらメニューを作りたいと思います。

今回の調理実習は10月5日(日)です。誰でも一度は参加してください！



夏の定番メニュー



皆でおいしくいただきます！

(大場)

### ソフトボール大会

8月31日、関東ゆうあいソフトボール大会に参加しました。諸般の事情により不参加となった利用者が相次ぎ、当日揃ったのはわずか9人！辛うじて出場辞退は免れましたが、女子マネまで動員して一人の離脱も許されない文字通り総力戦です。

初戦は青友会(青島特支卒業生)戦。やはり戦力の問題は如何ともし難く、攻守ともに手も足も出ず1対19で大敗となりました。続く順位決定戦でも宿敵大田通勤寮と激しいミスの応酬の果てに10対

18にて敗戦。事実上の最下位に沈みました。

春に通勤寮大会を制したメンバーは半分。覚悟はしていたとはいえ、目を覆わんばかりの惨敗でした。

しかしながら「団体競技は一人の力で勝てず、一人の責任で負けない」ものであり、この敗戦を通じてそれぞれが多かれ少なかれ自身の可能性と限界に触れたのではないのでしょうか。大会前「この戦力では勝てないからやりたくない」という声が出ましたが、そこには「勝ち馬に乗って」勝利を味わいたいという甘えや依存が見え隠れします。プロ野球の名監督たちが「敗戦にこそ学ぶものがある」と声を揃えるように、敗北の屈辱にまみれてこそ見つけられる課題があり、得られるものがあるのでしょうか。ことスポーツの上達に関しては適度にストレスがあった方が良いでしょう。この悔しさをバネに成長して欲しいところです。

これにて今シーズンは公式戦終了。来年に向けて練習に取り組みます。

(山内)



急遽、選手宣誓をすることに！



ライバル太田通勤寮との一戦

## バーベキュー

例年恒例のバーベキューが8月16日に行われました。利用者23人の参加がありました。メニューは焼き肉、カレーライス、おにぎり、うどん、スイカ、アイスキャンデーと盛りだくさん。買い物を終えて通動寮に戻ると、女性陣が大量の玉葱と格闘しながらカレーライスを作ってくれました。

17時を過ぎるといよいよ焼き台で火熾し。生憎湿度が高くなかなか炭に火が付きませんでした。皆が団扇であおぎ、ようやく良い感じの炭火になりました。そこで、三年目の男性利用者さんの乾杯のあいさつの後、バーベキュー大会が始まりました。お肉が焼ける前に、皆腹ごしらえと、カレーライスに人気が出ました。2升炊いた米がすぐに無くなってしまいました。ご飯にありつけなかった利用者はカレーうどんにして食べたようですがこちらも大満足の様子。炭火で焼いた肉はさすがに美味しく、3キロ用意していた肉はすぐに無くなり、追加補充しました。満腹した後は、山内主任お手製のかき氷。プロ仕様の板氷はサクサクしていて絶品でした。

バーベキューがお開きになった後は、片づけが待っています。思いのほか全員が協力してくれ、スムーズに進みました。自治会のメンバーがゴミの仕分けを率先して行い、やるときはやる町田通動寮の利用者を見直した次第です。

今年新たに入室した利用者もとけ込んで楽しんでいましたし、普段あまり話をしない利用者同士の交流も見受けられました。当たり前の事ですが、みんなでする食事は美味しいですね。仕事で忙しい毎日ですが、こんな安らぎのひと時をこれからも大切にしていきたいと思います。

(植竹)



カレーもあっという間に売り切れ！



皆さんの食欲には毎度驚きます…！

## 季節の話

・8月下旬、寮の前を走る横浜線にカメラを持った鉄道ファンの姿が見られました。四半世紀に渡って活躍した20系電車が引退したことに伴うものです。予定では1年かけての置き換えだったのが、好評であり省エネでもあることから早まったそうです。ヘッドマーク付きのさよなら運転は早朝だった事もあって、寮で目撃した人はあまりいなかったようです。この車両は横浜線での運用終了後東南アジアや南米などに運ばれてまだまだ働くそうです。

・テニスの錦織選手の活躍は寮内でも話題になりました。テレビの生中継は寮では見られず、「加入してよ！」なんて声もありましたが、朝食を摂りながらスコア速報を見る人も多く見られ、「あー劣勢だあ」とぼやきながら出勤していました。残念ながら日本人初の優勝は叶いませんでしたが、快挙に沸いた数日間でした。

## 防災訓練

8月31日、夏休みの終わりに南成瀬小学校にて町内会防災訓練が開かれました。町田通勤寮からは約10名、グループホームからは約20名の利用者が参加しました。

内容としては備蓄倉庫の点検、発電機の起動方法、ドライアイスを使った煙体験、消火器の使い方、手ぬぐいを使った傷口の応急処置、AEDの正しい使い方について地域の方々学びました。

消防署の方も丁寧に指導して下さい、最後に「成瀬地域の方々には非常に防災意識が高い」とのお言葉もあり、改めて、「備えあれば憂いなし」という諺の意味を再確認しました。

(岩崎)



おなじみの南成瀬小学校



発電機を起動！

## フクシア便り

東日本大震災(3.11)から早くも3年半が経過しました。被災された方々は大変な月日を送られてきたと思います。災害は次から次へと容赦なく襲ってきます。今年も大雨による土砂崩れで多くの方々の尊い命が奪われま

した。私たちも「対岸の火事」ではられません。いつ災害に見舞われても私たちは立ち向かわなくてはなりません。そのためには日頃から訓練を積み、防災意識を強く持つことが必要です。訓練を行う際には「また訓練か!」、「めんどくさいな!」とかよく聞く言葉ですが、実はその訓練がいざという時に役立つのです。

「自分の命は自分で守ろう!!」

(市川)

## 今後の予定

- ・ 9月27日(土)・28日(日)・29日(月) 宿泊訓練(北海道)
- ・ 10月5日(日) 調理実習
- ・ 11月8日(土)・9日(日) スピーチフォーラム(群馬県伊香保温泉)
- ・ 11月16日(日) 保護者会
- ・ 11月30日(日) マラソン大会(皇居)
- ・ 1月25日(日) 新年会

## 編集後記

暑い夏が長引かず、明け方は肌寒いこの頃、秋の訪れを感じます。

思わず、「もう9月か」と言ってしまうほど、時の流れは早く、蝉の鳴き声が鈴虫の鳴き声に移り変わるこの季節は寂しいものですね。

気温も徐々に下がり、体調を崩しやすい時期ですが、どうかご自愛ください。

(岩崎)